

科目名	情報システム開発	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	小林 満男	実務経験の有無		○	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-33-B-3-420008	経営情報学部C：情報や情報システムの活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	<p>コンピュータを活用して企業の情報システム化を進めるための方法論と手順について学ぶ。情報システムの導入計画から、分析、設計、製造、テスト、運用・保守にいたるライフサイクルの中で、どのような仕事が行われるのか、どのような組織でどのような管理が必要なのかを理解する。</p> <p>演習では提案依頼書に基づき、プロジェクトとして業務の仕組みを調査・分析しコンピュータを活用した情報システム化の提案を行うことを通し、計画的に目標を達成することを体得する（毎週1コマ、16回）。</p>				
学修到達目標	<p>①情報システムを開発する手順を理解し、開発過程で発生する問題点に対する課題解決の方法等を考えることができる。（定期試験30%、小テスト10%）</p> <p>②SEやプロジェクトリーダーとして、与えられた制約下におけるチームで目標を持って計画的に仕事を進め、進捗の把握、修正するための知識を理解し、説明と実施ができる。（定期試験20%、課題10%）</p> <p>③社会（顧客）の要求を解決するため、問題の認識、制約条件の特定、及び問題を分析しモデル化を行い、情報処理上の要件としてまとめるデザインの基本的な能力が身につく。（定期試験10%、課題20%）</p>				
実務経験との関連性	情報通信システムの開発、運用及び法人営業マネージャとしての経験をふまえ、個人、組織、社会の視点からICTの活用等の研究を指導する。				

授業計画	
第1回	<p>[オリエンテーション]</p> <p>これまでに大学で学んだことをふまえ、企業経営と情報システムについて事例をふまえながら講義します。</p>
第2回	<p>[ソフトウェアエンジニアリング]</p> <p>技術者の仕事、ソフトウェアエンジニアリングの知識体系について学びます。</p>
第3回	<p>[ソフトウェアの開発プロセス]</p> <p>プロセスとプロダクト、ソフトウェア開発モデルについて学びます。</p>

第4回	<p>【特別講義】または【情報システムの開発事例の講義】 外部講師による特別講義、または教員が従事した情報システム開発事例について紹介します。</p>
第5回	<p>【分析と設計】 システムアプローチ、構造化分析・設計、モデルとモデリングについて学びます。</p>
第6回	<p>【プロジェクト管理】 モダンプロジェクトマネジメント、PMBOK、PMI、PMPについて学びます。</p>
第7回	<p>PBL 【①-1プロジェクトの発足】 チーム学習の進め方について説明します；演習</p>
第8回	<p>PBL 【①-2課題、現状分析】 提案依頼書から情報システム化提案書作成までのステップについて学びます；演習</p>
第9回	<p>PBL 【②-1提案システムの検討】 処理方式、HW/SW/DBシステムの検討について学びます；演習</p>
第10回	<p>PBL 【②-2提案システムの見積り】 情報収集、各種見積り方法について学びます；演習</p>
第11回	<p>PBL 【③-1費用対効果の検討】 IT投資目的、評価方法について学びます；演習</p>
第12回	<p>PBL 【③-2提案書作成、レビュー】 品質管理とレビューについて学びます；演習</p>
第13回	<p>PBL 【④-1提案書プレゼン】 情報システム化提案書をプレゼン（評価）していただきます；演習</p>

第14回	PBL [④-2提案(書)の評価方法] チーム学習の振り返り(各種ドキュメン、感想文の提出)をしていただきます; 演習
第15回	[情報システム開発の復習とまとめ] 講義とPBLを振り返ります(及び期末試験の実施方法について説明します)。
第16回	[期末試験] 80分(テキスト等、一切の持ち込みを禁止します)

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間: テキスト(の該当する章)と事前に配布した講義資料で予習する。PBL実施中は、プロジェクトの中で与えられた業務について準備すること。
【復習】時間・内容	2時間: テキスト(の該当する章)と事前に配布した講義資料で授業を振り返る。PBL実施中は、プロジェクトの中で与えられた業務について振り返ること。

成績評価	
評価基準・方法	①定期試験の(問題1)基本的な知識(10%)、(問題2、問題3及び小テスト)開発手順等の理解(30%) ②定期試験の(問題4、問題5、問題6)プロジェクトマネジメント、デザインレビュー他(20%)と開発規模等の見積もり(10%) ③定期試験の(問題6)費用対効果等(10%)と情報システム化提案(20%) [情報システム化提案]◎チーム評価(20%)、○個人評価(10%) ◎分析・設計(情報システム化提案書作成): 10% ◎プレゼンテーション等: 5% ◎プロジェクト管理作業: 5% ○個人の取組み状況(気づき): 10%
フィードバック方法	・小テスト(特別講義の感想文を含む)については学生の解答例について解説する ・情報システム化提案では、各チームの提案書及びプレゼンについて、教員がその内容及び評価について解説する ・期末試験結果の全般的な講評はポータルで行う

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	PBL（課題解決型学習）／グループワーク／プレゼンテーション
教科書/参考書	教科書：鶴保・駒谷共著「ソフトウェアエンジニアリングの授業1,2」増補改訂版 翔泳社 各2000円（購入必須） 参考書：永井昭弘著「RFP&提案書 完全マニュアル」改訂版日経BP社 2100円（購入不要）
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に出席することは単位認定の必須条件です。欠席が1/3をこえた場合は単位認定しません。 ・チーム学習の期間は隔週開催となります（チームによる自主的な学習を期待します）。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：E、G